

岩手県社会福祉大会を開催 257名、30団体、2組を表彰

11月6日に岩手県民会館で第66回岩手県社会福祉大会を開催しました。（主催：岩手県社会福祉協議会・岩手県共同募金会）

大会の冒頭に、物故社会福祉事業関係者へ参加者全員による追悼の黙



岩手県社会福祉大会

とうが捧げられ、式典では県内の社会福祉従事者、民生委員・児童委員、ボランティア、また、長年在宅で家族介護を続けている方々などが表彰を受けました。（257名、30団体、2組）

その後、「命の時代」の「主役」と題して、志ネットワーク代表の上甲晃氏の記念講演が行われました。大会宣言では●多様な生活課題を抱える人々に対し、良質な福祉サービスの提供とともに、本人の尊厳を守りながら適切な制度利用を支援す

る体制整備を進めること●被災者や制度のはざままで立ちすくむ人びとを抱える様々な課題に対しては、医療・保健・教育・労働などの多種多様な組織、機関等とのネットワークをつくり、福祉の枠を越えたサービスや活動の展開により積極的に支援すること●災害にも備えた安心安全なコミュニティの形成を図るため、

福祉教育やボランティア活動をより一層推進し、住民主体による支え合いの仕組みづくりに取り組むこと●被災地の福祉サービスの復旧・復興とともに、福祉サービス事業の経営基盤の確立や人材の確保に努め、地域福祉サービスの充実に向けた取り組みを進めることを採択し、閉会しました。

岩手県里親大会を開催 4組の里親に県知事感謝状

岩手県里親会（高橋忠美会長）は10月6日にふれあいランド岩手で岩手県里親大会を開催しました。

式典では岩手県知事感謝状が4組の里親に贈呈され、岩手県里親会会長表彰を11組の里親が受賞しました。

「ものづくり講座」で 木彫りの箸と箸置きを制作

10月14日にもものづくり講座を開催しました。同教室は毎回内容を変えながら実施していますが、今回は木彫りの箸と箸置きを製作しました。講師にCarpentry 優遊結の千葉祐生氏を迎え、12名の参加がありました。初めに講師から木の材質や目、彫刻の持ち方、刃の向きなどについて説明を受け、鉛筆の目印に沿って実際に彫り進めました。漆を塗って完成となりますが、この部分は講師に

していただきました。参加者からは「学生時代を思い出し、懐かしく楽しかった」「時間に追われることなく、ものづくりの面白さや奥深さを実感できた」などの感想が寄せられました。

料理教室「手作り豆腐体験講座」で豆腐に挑戦

11月3日に料理教室「手作り豆腐体験講座」を開催しました。同教室は毎年内容を少しずつ変えながら継続開催しています。今回は手作り豆腐に挑戦しました。講師に岩手県栄



手作り豆腐体験講座



ものづくり講座

ありがとうございます

昭栄建設株式会社より

10月15日に昭栄建設株式会社（横澤昭博代表取締役社長）より、使用済み切手を寄贈いただきました。

この切手は「いわて車いすフレন্ズ」活動の費用の一部（国内輸送費）として役立てる予定です。

富士ゼロックス 岩手株式会社より

10月21日に富士ゼロックス岩手株式会社（成田幸穂代表取締役社長）より車いす及びAEDを寄贈いただきました。この車いすとAEDは、県内21か所の福祉事業所へ贈られました。

同社では、平成20年度より車いすを寄贈し、延べ60台となります。この活動は、社員の給与から募金し、積み立てる

ふれあいランド 岩手



養士会の徳田恵子氏を迎え、15名の参加がありました。

初めに講師から豆腐作りについて説明を受け、3班に分かれて作業を開始しました。

完成後は、全員で試食をし、併せてにがりの選び方や豆乳の説明も受けました。

参加者からは「簡単にできて美味しく楽しかった」「今日やってみて、すごく料理が楽しくなった」などの感想が寄せられました。

「アクティビティ・ケア フォーラム」開催

10月26日にアクティビティ・ケアフォーラムを開催しました。このフォーラムは、アクティビティインストラクター養成セミナー修了者へのフォローアップを目的に行ったものです。

初めに日本福祉大学福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科教授の綿祐二さんから講演をいただきました。

た。続いて各福祉事業での実践発表をいただき、講評をいただきました。

参加者にとつては様々な実践内容を聴くことができる貴重な機会となったようでした。

「アクティビティインストラクター養成セミナー」を開催

10月27日にはアクティビティインストラクター養成セミナーを開催しました。セミナー講師には高齢者アクティビティ開発センター代表の多田千尋さんを迎え、48名の参加がありました。

同セミナーは、現在福祉施設で通常の介護のほか、重視されている脳や心身機能の維持・向上を図る援助を行い入所者の生活をより豊かにするアクティビティ・ケアを実践する人材養成を目的に開催しました。

講義ではおもちゃで遊ぶことがいかに子どもや高齢者の生活に潤いを

与えるか、世代を超えてコミュニケーションを図るために有効な手段になるか、などのお話をいただきました。

セミナー後半は笑いがみ教室主宰の佐々木幸子さんに高齢者施設でのアクティビティ・ケアについて実践発表をいただきました。

その後、牛乳パック等の廃材を用いた手作りおもちゃの作成やアクティビティ・トイを使ったチーム対抗戦を行い、おもちゃの有効性を体験しました。

「さわやか交流水泳記録会」を開催

11月4日にさわやか交流水泳記録会を実施しました。

この記録会は障がいをもつ方、高齢者、60歳以上の一般の方を対象とし、日頃の練習の成果を試すことなどを目的に開催しています。今回で17回の開催となり、45名の参加がありました。



アクティビティインストラクター養成セミナー

「富士ゼロックス岩手県数倶楽部活動の一環として取り組まれているものです。」

社団法人生命保険協会・岩手県生命保険協会より

10月23日に社団法人生命保険協会・岩手県生命保険協会より福祉車両、福祉機器(可搬型スロープ及び車いす)を寄贈いただきました。

この福祉車両及び福祉機器は県内9か所の市町村社会福祉協議会へ贈られました。

JA共済連岩手より

11月7日に全国共済農業協同組合連合会岩手県本部業務部業務総合課の菊池信浩主幹が当会を訪れ、使用済み切手及び書き損じはがきを寄贈いただきました。

この切手及びはがきは「いわて車いすフレンズ活動の費用の一部(国内輸送費)として役立てる予定です。」



福祉車両・福祉機器は市町村社会福祉協議会へ寄贈



富士ゼロックス(株) AED・車いす寄贈式



JA共済連岩手からの寄贈



(社)生命保険協会・岩手県生命保険協会「福祉車両・福祉機器」寄贈